

「学校栄養職員・大学生等を対象とした農業体験と意見交換会」アンケート結果

- ・日 時:平成24年8月21日(火)10:30~15:30
- ・場 所:岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター
- ・参加者:18人
- ・回答者:16人 (回答率89%)

出席者(回答者)概要

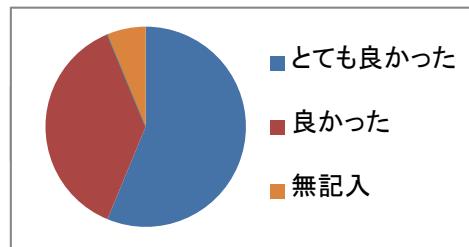
性別	男性	3
	女性	13

年齢	10代	2
	20代	9
	50代	5

職業	学校栄養職員	7
	大学生	9

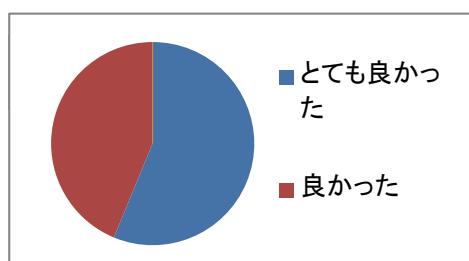
問1 全プログラムを通しての印象

とても良かった	9	56.3%
良かった	6	37.5%
どちらとも言えない	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
とても良くなかった	0	0.0%
無記入	1	6.3%



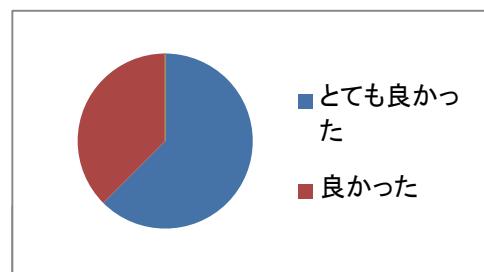
問2 講演を聞いて

とても良かった	9	56.3%
良かった	7	43.8%
どちらとも言えない	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
とても良くなかった	0	0.0%
無記入	0	0.0%



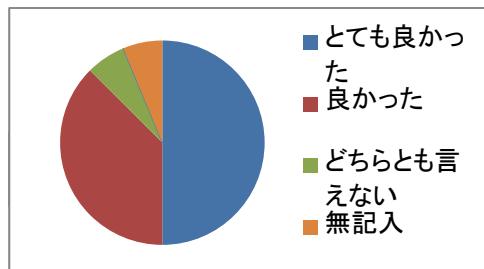
問3 農業体験をしてみて

とても良かった	10	62.5%
良かった	6	37.5%
どちらとも言えない	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
とても良くなかった	0	0.0%
無記入	0	0.0%



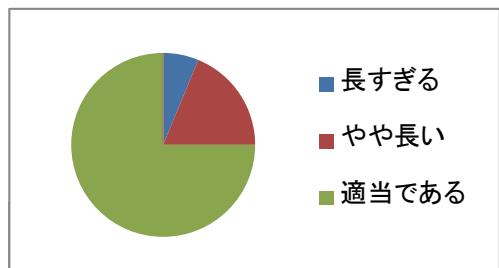
問4 意見交換をして

とても良かった	8	50.0%
良かった	6	37.5%
どちらとも言えない	1	6.3%
良くなかった	0	0.0%
とても良くなかった	0	0.0%
無記入	1	6.3%



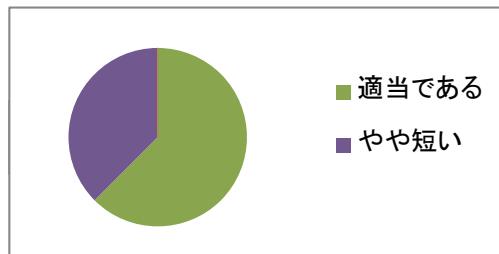
問5 開催時間の長さ

長すぎる	1	6.3%
やや長い	3	18.8%
適当である	12	75.0%
やや短い	0	0.0%
短すぎる	0	0.0%
無記入	0	0.0%



問6 質疑応答の時間

長すぎる	0	0.0%
やや長い	0	0.0%
適当である	10	62.5%
やや短い	6	37.5%
短すぎる	0	0.0%
無記入	0	0.0%



▽本イベント等に対する意見・要望等

普段体験することのできない枝管理などができ、勉強になりました。 収穫は〇〇狩りなどで体験することができますが、枝管理はさせてもらえる機会がないので良かったです。 種まきもコーティングされた種など、新しい技術などを知ることができ、勉強になりました。 貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。お世話になりました。
桃やぶどうの手入れが大変なことがよくわかった。高値なのもうなづけました。今日はお世話になりました。
今日は貴重な体験をありがとうございました。 中国四国農政局には、お世話になる機会もあります。今後ともよろしくお願いします。
近くのJAに学校から訪問し、力を借りたいと思います。
色々な意見が聞けて、よかったです。
食の大切さを「身土不二」を通して伝えたい。
岡大の中にこのような場所があるのを知り、良かったと思いました。 売店があるのも初めて知りました。
ぶどうの枝を切らせてもらい、とても良かったです。何回も切った後がわかり、手をかけて育てているのが良くわかりました。
食育を行う立場にいながらも、食の根幹である農に接する機会が少ないことは正直恥ずかしかった。今回多少ながらも現場の方のお声を聞き、ご苦労を知ることが出来た。
もう少しやれば、何か見えてきそう…。今回の体験は、少し楽だと思う。
農業体験をする時間が短かったので、もの足りなさを感じました。
もっとどうしたら良いかと考えながら物事を考えると良いことを知りました。 栄養士の人と話が出来て良かったと感じました。今度はモモの判別の仕方を知りたいです。クイーンとか色々あるのは知っていますが、何を見て判別しているか知りたいです。

▽「農」と「食」を結び付ける食育活動を促すために、どの様な取り組みが効果的だと思うか？

今回のように、収穫や種まき以外の作業の体験をする機会があれば良いと思いました。学校でも野菜は作りますが、管理は子どもがしないことが多いので、野菜や果物を作る大変さを知るために必要かなと思います。

種から実がなって自分たちの手もとに食材が届くまでを通して体験することができるといいなと思います。

夏休みなど子どもを対象に、種まき体験(野菜)をし、秋には収穫体験、食体験(料理実習など)、保存食作り体験(みそ、つけものなど)も必要かと思います。

若い家庭をもつ母親、父親(20代、30代)が、例えば、今日のような農業体験をすることで、効果的に食育をひろげ、実践につながると思います。

試食会や給食だより、給食時間の指導にこの体験などを地道に伝えていきたいと思います。

学校では、特に給食時間に放送、掲示、授業で取り組んでいる。生産者の方のご意見を聞いたり、作業を体験することによって、児童、生徒にも伝え、食の大切さをわかって食を大切にしていきたい。

児童・生徒には、おいしい給食を提供することが第一で、授業でも農の大切さをできるだけ伝えていきたい。

日頃何げなく食べているが、作業に関わる事は大変である事や感謝の心を育てるのに農業体験は必要だと思う。

今、農業をする人口が減ってきているのは問題だと思います。農の方が減っているのに結びつけるのは大変です。家の方で少しでも作る人が増えたら、本当の食べものの良さを理解できる人も増えるのではないかと思います。スーパーの果物・野菜が、本来の姿ではないというのを理解しないといけないのでないでしょうか。

テレビで5分ぐらいで野菜の事と農家のことを紹介する番組を作成できれば良いのでは。

食と農を調理で繋ぐなど、議論よりも体験をすれば、感じることが出来るとともに行動に繋がると思った。

長期的に体験したら苦労が分かる。最近一週間の期間で雑用から何までやらせてみる。ものすごい苦労してから得る作物は、絶対残す気が失せると思う。

子どものうちに農業を体験すると良いと思う。

やはり小さい頃の思い出は、大人になっても覚えているものなので。

今回のように講演をきくだけでなく、体験できることで、とても理解しやすかつたし、楽しく学ぶことができました。

ぶどうの収穫など、普段できない貴重な経験をすることができるような取組を、これからも計画してほしいです。

私は小学校のとき、近くの農家で稲作体験した経験があって、ずっと記憶に残っています。こういう体験をもっと小学校で増やしていくと良いと思います。

食に対する指導をひんぱんにする。

親子参加型の田植え～収穫まで

小さいころから食に興味を持たせる。→小学校から食育の授業を入れていく。

農業を体験させる。学校と地域の連携。